

IV

計画の基本的視点

計画の基本的視点

1 農林水産業を支える3つの視点

都市化が進展する中、本市では豊かな自然環境や地域資源が残されています。今後は、これらを生かした産業としての農林水産業の振興を図るとともに、農林水産業者だけでなく、市民が一体となり、農山漁村を守る取組が必要となってきます。

そのため、担い手や消費者など農林水産業を支える「人づくり」、安全で安心かつ信頼され魅力あふれる「ものづくり」、地域資源を最大限に生かした活力ある「地域づくり」の3つの視点で、「人」と「もの」と「地域」がそれぞれを支えあう関係を構築できるよう、各種施策を積極的に取り組んでいきます。

「人づくり」

農山漁村の持続的な生産活動や維持・保全を進める上で最も重要な役割を担うさまざまな「人」とその「人づくり」を支援します。

⇒「将来の農林水産業を支える人づくり」

「ものづくり」

高い生産性と消費者ニーズに対応した特色ある農林水産物や加工品づくり、環境と調和した農林水産業のあり方、地産地消*等を推進します。

⇒「信頼され魅力あふれるものづくり」

「地域づくり」

生産性が高く効率のよい農林水産業の生産基盤の整備や多面的機能の維持・発揮、地域資源を生かした都市と農山漁村の交流等を図ります。

⇒「特性を生かした活力ある地域づくり」

2 計画の目標像

本市の農林水産業が市民の豊かで健全な暮らしを実現し、将来にわたり夢と希望が持てるよう努めるとともに、それらを次世代に継承し、持続的に発展する農林水産業の創造を目指していくため、本農林水産業振興基本計画の目標像を

将来に夢と希望があふれ、持続力ある農林水産業の創造

と設定しました。

本計画の3つの視点である「人づくり」「ものづくり」「地域づくり」が相互に補完しながら、本目標の実現に寄与していくものです。